



検査ニュース Vol.3 No.8

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、検査内容変更及び2020年度診療報酬改定関連資料についてご案内致します。

佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 志田 正典

●検査内容変更

抗酸菌検査塗抹・培養 (令和2月4月1日(水)ご依頼分より)

抗酸菌検査を抗酸菌検査ガイド2016に基づき変更いたします。

抗酸菌塗抹は集菌法を行うことで陽性率の向上になり、塗抹の段階で陽性が分かれば、診療・隔離等今後の医療方針に早期に対応できるものと思われま。

抗酸菌培養も液体法に変更することで、高感度・迅速な結果報告が可能となります。

尚、検査材料・検体量・採取容器・保存温度等の変更はございません。

※1 抗酸菌塗抹

	現	新
項目コード No.	5121	2912
検査項目	抗酸菌塗抹	抗酸菌塗抹(集菌蛍光法)
検査方法	チール・ネルゼン法(直接塗抹)	集菌蛍光法
実施料	61点	50点(蛍光法)+32点(集菌法)
判断料	※7	※7
結果表記	陰性~ガフキー10号	(-)~(3+)にガフキー併記

※2 抗酸菌培養

	現	新
項目コード No.	5131	2913
検査項目	抗酸菌培養(小川法)	抗酸菌培養(液体法)
検査方法	2%小川培地	酵素感受性蛍光センサー法
実施料	204点	280点
判断料	※7	※7
結果表記	陰性~コロニー数	(-), (+)
所要日数	中間報告 4週 最終報告 8週 陽性 随時報告	中間報告 3週 最終報告 6週 陽性 随時報告

●TRC 検査のご紹介 ※3

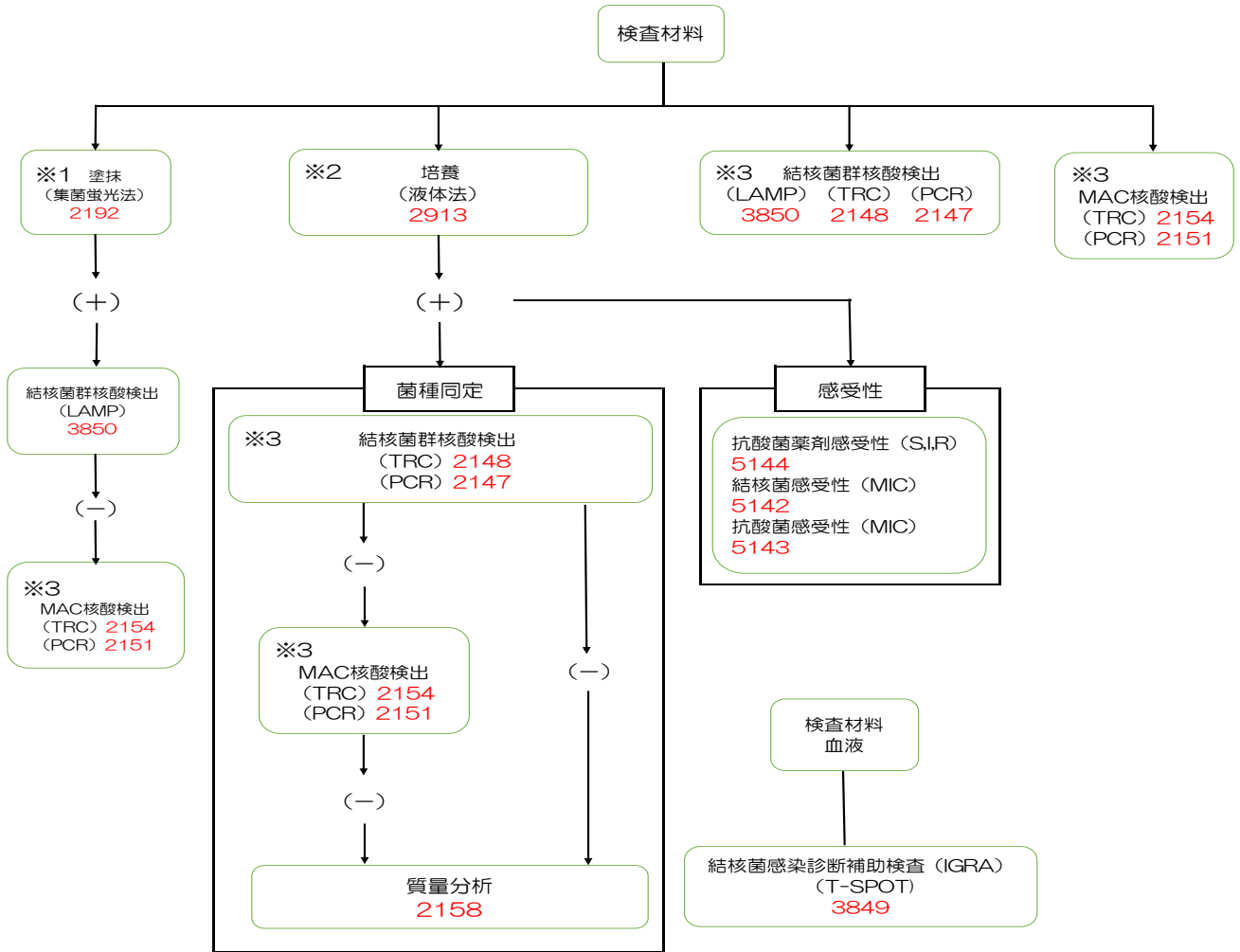
TRC法はPCR法に代わる遺伝子検査です。検体の前処理・核酸抽出処理後のサンプル中から16SrRNAを増幅・検出することで、高い感度と正確性を満たし、結核菌の早期治療と感染防止に有用な検査です。

項目コード No.	検査項目	検査材料	検体量 (mL)	保存	採取容器	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	備考
2148	結核菌群核酸同定 (TRC)	呼吸器材料 (喀痰など)	喀痰 2.0	冷蔵	滅菌喀痰 容器	410点 ※7	2~4	TRC	検体は充分量をご提出願います(検体量が少ない場合は検出感度が低下します)。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
2154	MAC核酸同定 (TRC)					421点 ※7			

※7 微生物学的検査

検査ニュース Vol.3 No.8

●抗酸菌検査フローチャート



● 2020 年度診療報酬改定関連資料

【削除された代表的な項目】

- ・ トロンボテスト
- ・ 前立腺酸ホスファターゼ抗原 (PAP)
- ・ アレルゲン刺激性遊離ヒスタミン (HRT)
- ・ ムコ蛋白
- ・ サイトメガロウイルス抗体
- ・ 膵分泌性トリプシンインヒビター (PST I)

【名称変更】

旧) クロストリジウム・ディフィシル抗原定性 ➔ 新) クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性

【その他】

①D007 1 アルブミン (BCP改良法・BCG法)

[算定要件] アルブミンのうち、BCG法によるものは、令和4年3月31日までの間に限り、算定できるものとする。 ※当センターでは、「BCP改良法」にて測定しております。

②【検体検査判断料】

1 尿・糞便等検査判断料	34点	2 遺伝子関連・染色体検査判断料	100点 (新設)
3 血液学的検査判断料	125点	4 生化学的検査 (I) 判断料	144点
5 生化学的検査 (II) 判断料	144点	6 免疫学的検査判断料	144点
7 微生物学的検査判断料	150点		